

緑のボランティア通信

2016.4.1 No.44

28年度の主な事業紹介をします。

公益財団法人川崎市公園緑地協会は、川崎市の緑の保全と緑豊かな街づくりを推進し、市民等の緑の活動支援や育成、普及啓発のためのボランティアセンターとしての機能を有する緑の拠点として、様々な事業を展開してまいります。「緑の推進支援課」の今年度の主な事業を紹介します。

*** 緑のボランティア育成事業 ***

① かわさきの森づくり（里山ボランティア育成講座）

川崎の里山に関心を持ち、実際に活動をはじめめる人材を育成するとともに、即戦力として緑地の整備に貢献します。今年の講座は単位制。都合の良い日程、希望の内容を選んで参加ください！

- **実技日程** 4月10日 4月15日 5月29日 6月11日 6月24日 7月31日
8月4日 9月10日 10月16日 11月5日 12月17日 1月22日
各回 9時半～12時 小雨決行・荒天中止 古沢都古緑地、生田榎戸特別緑地、等
- **講義日程** 6月26日 10月21日 2月25日 9時半～15時 川崎市公園緑地協会 等
- **申込方法**：はがきに〒・住所・氏名・年齢・電話番号・メールアドレス・希望の日程を明記し、「かわさきの森づくり」係宛、送付ください。実施前月の1日から3日前まで、先着順で各回40人を受付ます。



② こども黄緑クラブ（こども自然体験教室）

川崎の公園や緑地を探検して親子で自然とふれあいます。春夏秋冬 年4回実施します。



- 春**：5月26日（木）10時半から11時半 大師公園 幼児対象 春の草花で遊ぼう
- 夏**：8月3日（水）17時半から19時半 等々力緑地 小中学生対象
セミの羽化観察会
- 秋**：10月27日（木）10時半から11時半 王禅寺ふるさと公園 幼児対象
葉っぱと木の実で遊ぼう
- 冬**：29年2月26日（日）10時から12時 黒川地区緑地 小中学生対象
冬越しの昆虫観察会

- **申込方法**：往復はがきに〒、住所、氏名、年齢、電話番号、保護者氏名、希望の季節を明記し、「こども黄緑クラブ」係宛、実施3週間前必着で送付ください。

③ 花と緑のまちづくり講座（緑化推進リーダー育成講座）

市民による自主的な緑化推進活動の中心的人材の育成を目的に講座を開催します。全6回全て参加できる市内在住、在勤、在学の方を対象に9月から実施します。日程、内容等、次号ボランティア通信で詳しくお伝えします。



目次	
28年度の主な事業紹介	1
28年度の主な事業紹介 / お知らせ	2
活動団体訪問・自己紹介コーナー	3
ツリー・ウォッチング	4

28年度の主な事業紹介(つづき)



*** 第12回わがまち花と緑のコンクール ***

市内の花と緑の優れた景観を発掘し、それを創り出している方々の紹介を目的に実施します。応募締め切りは4月12日。現地調査と選考会を行い、6月25日(土)に中原市民館で表彰式をします。

*** 緑のボランティア活動支援事業 ***

① 「緑の活動団体」助成事業

公開性の高い場所で植樹、花壇づくり等により緑化を行い年間を通じて維持管理に取り組む団体や、下草刈り等の緑地保全活動を担う団体に活動資金の一部の助成や情報提供等の支援を行います。



② 2016 花と緑の交流会

「緑の活動団体」や「管理運営協議会」「公園緑地愛護会」等、川崎市内で活躍する花や緑に関わる団体が日ごろの活動の成果を広く市民に発表するとともに、これらの人々の交流を深めることを目標に、11月27日(日)高津市民館で講演会やパネル展示を行います。



③ 情報誌「緑のボランティア通信」の発行

緑のボランティアへの情報提供と連絡調整を図るとともに、広く市民に活動状況を知らせ、活動への新たな参加や新規団体の登録拡充をねらいます。(年5回)



*** その他 ***

緑の活動団体を対象にした鉢植え講習会、出前講座、道具や図書の貸し出し、人材バンクへの登録と活用等に取り組みます。

お知らせ

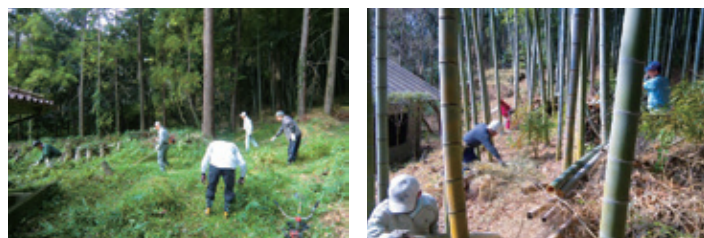
◆ 川崎市環境局環境調整課から「グリーンウェイブ 2016」に関する協力依頼です。

国連生物多様性の日(5月22日)を中心に植樹等を行う「グリーンウェイブ」の参加を募集します。3月1日から6月15日までの期間に植樹等の活動を計画・実施している団体の方は、情報をお寄せください。詳しくは電話(044-200-2387)まで、お問合せください。

日向緑地保全会 (2011年設立)

活動場所 片平緑の保全地域 (麻生区片平 2-456-1ほか)
交通案内 小田急多摩線「柿生駅」より 徒歩6分

黒片平緑の保全地域は、尻手黒川線と世田谷町田線津久井道が交わる正面右手の山林です。相続で川崎市に土地を寄付した元の地主を中心に、土や植木をいじるのが好きな地域の人たちが集まり「日向緑地保全会」を結成して、引き続きボランティアで山林の保全活動を行っています。現在の会員は50代から70代の男性13名、女性3名で、下草刈りや強風で折れた樹木の処理等を行っています。また、健全な竹林の維持更新のための竹の伐採や春には竹林が広がりすぎないように、竹の子のうちに掘りあげる作業が大忙しです。面積が11,000㎡もあり、急斜面地ですので草刈や、竹の伐採後の枝払い



や玉切り、積み上げる作業はとてまたいへんですが、人との出合いやその後のつながりは何にも代えられない財産です。(長瀬和徳)

土橋矢上クラブ (2012年設立)

活動場所 矢上川水路敷 (宮前区土橋 6-12-1)
交通案内 東急田園都市線「宮前平駅」より 徒歩16分

東名川崎インター近く、尻手黒川線沿いの東名土橋公園に並列する形で網フェンスに囲まれた矢上川の暗渠土手部分が活動場所です。1月の寒空に咲き始めるロウバイを手始めに、ジンチョウゲ、ハナモモ、ヤマザクラ、ツツジ、アジサイ、サルスベリ、サザンカとほぼ一年を通じた花木の競演、その樹間をスイセン、ナノハナ、チューリップ、タチアオイ、ショウブ、ヒマワリ、ヒガンバナ、コスモスなど色とりどりの花が飾ります。



平成24年、宮前区道路公園センターから私たちに声がかかり、雑草と建設廃材のがれきの山と化していた法面を花木園に蘇らせるべく、植木について知識の深い地元住民にも加わっていただき、新たに土橋矢上クラブを結成しました。力仕事優先に会員はおのずと男性主体となり、会員31名中20名が男性で隣にある焼き鳥屋での活動後の冷たいビールにも楽しみを見出しています。

兄弟クラブである土橋園芸クラブと共有のカラー版の会報を毎月発行していますが、内容は、単に花壇や花木園の情報に限定せず、町内会、老人クラブ、地区社会福祉協議会のイベント情報も盛り込み、会員の情報源としても活用されています。(老門泰三)





“幸せの黄色い使者たち”



春は花の多い季節。「身近でよく見かける、この花は何?」という質問を頂くことがあります。今回はそんな“身近な花木”たちの中から、市内でもよく見かける“春を黄色く彩る花木”の一部を紹介させていただきます。きっと、あなたの家の近所でも見られますよ。

No. 45 江川せせらぎ遊歩道の日向水木 (ヒュウガミズキ)

以前、河津桜でも紹介した『江川せせらぎ遊歩道』。日向水木もたくさん植えられています。

日向水木 (ヒュウガミズキ[マンサク科]) は日本原産の花木で、主に西日本の日本海側 (石川～兵庫) のやせた岩山に自生するそうです。近縁のトサミズキに比べ小柄(葉の長さ2～3cm)で、1m前後に仕立てられ、よく道路脇の街路樹の下に植えられるものです。花期はトサミズキより早く河津桜の咲く頃から4月初旬頃。一房の花は2～3個で、果実は葉の上に付きます。

早春の日だまりに、ご近所の小径でこの黄色い花を見かけて“春”を感じる・・・よく見ると黄色い衣装の妖精たちの舞が見られるかもしれませんよ。



ヒュウガミズキの
果実と花▶



江川せせらぎ遊歩道

住 所 中原区新城から高津区明津辺り
交通案内 JR南武線「武蔵中原駅」より 徒歩15分

No. 46 生田緑地の土佐水木 (トサミズキ)



ここは『生田緑地』の青少年科学館 (サイエンスプリン) の脇にある土佐水木。下の藤棚から見上げたところです。この土佐水木 (トサミズキ[マンサク科]) は日本固有種の花木で、自生地は土佐 (高知県) の蛇紋岩や石灰岩地域の一部だけだそうです。ヒュウガミズキに比べ大柄 (葉の長さ5～11cm) で、主に庭木として植えられるものです。花期はヒュウガミズキより遅くソメイヨシノの咲き出す少し前から4月中旬頃。一房の花は7～10個で、果実も葉の下に垂れ下がるように付きます。

桜の花見の際に、この黄色い花も探して見ませんか?・・・きっと黄金色の夢が見つかるかもしれません。



▲トサミズキの果実



▲トサミズキの花

生田緑地

住 所 多摩区枳形 他
交通案内 小田急線「向ヶ丘遊園駅」南口より 徒歩13分

このコーナーでは、川崎市内の名木・珍木・希少木の情報を募集します。

あなたのご近所の地名の由来にもなった名木や巨樹、珍しい花が咲く木、変わった風景の木、調べてほしい不思議な木等々の情報をお寄せください。取材して、このコーナーで紹介します。・・・執筆いただいている木珠 (こだま) 氏がこのコーナーのホームページを作りました。《<http://hitotokinoharuka.web.fc2.com>》「川崎のツリーウォッチング」で検索してみてください。